

【伊平屋村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末とクラウドツールの利用により、データ利活用による個別最適な学びと協働的な学びを充実するとともに教師の負担を軽減する。各学校長のリーダーシップの下で教育DXを推進し、学習履歴（スタディ・ログ）の管理を行う事で学習状況把握し、全ての子供たちが適切な教育を受けられる環境を整備する。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期には、県立学校教職員と児童生徒にGoogleアカウントを配付済みであったため、コロナ禍においても学校からの連絡や情報共有を問題なく行うことができた。端末については、高校進学を見据えてWindows端末を導入した。

しかし1人1台端末利用開始直後は、ネットワーク環境の不具合により整備に数ヶ月かかり、長期間に渡って学校における端末利活用に影響した。まだ課題はあるが、令和6年度からネットワーク環境を改善するため各学校ごとに通信機器の取替を実施しより良い通信環境のもと学習に取り組めるよう整備を進めていく。また、今後はデータ利活用を進める計画である。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末の環境を引き続き維持する。

校内研修の積極的な実施と活用により、ICT研修を受講する教員の数を増やし、1人1台端末を毎日使う環境の構築を目指す。

また、授業において児童生徒が自ら調べ、考えをまとめて発表する場面を設定することや、教職員と児童生徒、児童生徒同士クラウド上での学びができる環境、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて学びができるよう、フォーサイトアプリなどツールの活用を推進する。

1人1台端末を活用した学びの保障については、端末を活用した心身における状況を、フォーサイトアプリで管理し、その状況によって教職員がアプリ等において個々のサポートを支援していく。